

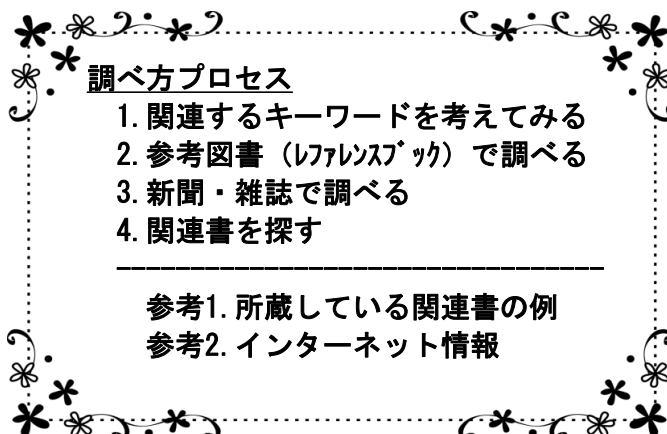
ジオパークについて調べよう

作成：函南町立図書館

2015. 3. 4

伊豆半島ジオパークは平成24年9月に日本ジオパークネットワークに加盟が認められました。平成26年12月に世界ジオパークネットワーク（GGN）に加盟申請をしており、平成27年9月に可否が決定します。

伊豆半島ジオパークのジオサイト（見学場所）は函南町にもあります。函南町立図書館に所蔵している資料から、ジオパークについて役立つような情報の探し方をご紹介します。



調査プロセス

1. 関連するキーワードを考えてみる
2. 参考図書（レファレンスブック）で調べる
3. 新聞・雑誌で調べる
4. 関連書を探す

参考1. 所蔵している関連書の例

参考2. インターネット情報

1. 関連するキーワードを考えてみる

事前に、調べたいことのキーワードを決めてから調査をはじめると効率よく調べることができます。「ジオパーク」に関連するキーワードを考えてみましょう。

例) ジオパーク、ジオサイト、ジオポイント、伊豆、断層、丹那断層、丹那盆地、北伊豆地震、地層、オラッチェ、酪農、丹那トンネル、玄岳、伊豆スカイライン、柏谷横穴群、横穴墓、田代盆地、火雷神社、巨木、巨樹、十国峠、月光天文台、池ノ山峠、湯河原火山、箱根火山、地球、地球科学、地学、地質学……など



2. 参考図書（レファレンスブック）で調べる

調べたいことがどんな内容なのか確認するため、参考図書で調べてみましょう。

☆参考図書（レファレンスブック）とは……特定の知識・情報について調べるための図書。辞書・事典や百科事典などのこと。主なものは2階レファレンスコーナーにあります。

例) 『現代用語の基礎知識 2015』（自由国民社 2015.1 R031ケ）で「ジオパーク」を調べます（巻末の索引で引くと該当ページがわかります）
⇒ p 691に「ジオパーク」の項目があり、用語の説明・最近の動向などが調べられます。



3. 新聞・雑誌で調べる

時事問題を調べる時は新聞・雑誌を使用します。特に新聞データベースを使えば、新聞記事や一部の雑誌記事をキーワード検索することができます。利用は2階カウンター職員にお申し込みください（図書館内のみで利用可能です）。また、実際に所蔵している新聞（原紙・縮刷版）・雑誌の種類や保存期限などは職員におたずねください。

●函南町立図書館で利用できるデータベース

日経テレコン21	聞蔵Ⅱビジュアル
静岡新聞・伊豆新聞・伊豆日日新聞・熱海新聞・日本経済新聞 など	朝日新聞・知恵蔵（現代用語事典）・アサヒグラフ など

4. 関連書を探す

・方法1 キーワードを入力して検索する。

蔵書検索機（OPAC）、または図書館のホームページの蔵書検索で、上記1～3で集めたキーワードを入力して検索します。

・方法2 図書館の棚を実際に見て探す。 ※（ ）内は請求記号・別置シールの色です。

- ・地球科学・地学の棚（450～）
- ・地理・地誌の棚（290～）
- ・地域資料の棚

歴史・地理（K200～）自然科学（K400～）文化財の棚（K709）

函南（四角い水色の別置シール）



●ジオパークについて

世界や日本の「ジオパーク」や「伊豆半島ジオパーク」とは何かをみましょう。

『世界のジオパーク』

世界のジオパーク編集委員会・日本ジオパークネットワークJGN／共編 オーム社
2010.3 (629.4セ)

日本、中国、オーストラリア、ブラジル、ドイツ、イタリアなど19カ国63箇所のジオパークを、豊富な写真で紹介。所在地、緯度・経度、面積、アクセスを解説とともに掲載する。

『全国ジオパーク完全ガイド』 マイナビ 2012.6 (291.09セ)

洞爺湖有珠山、山陰海岸、天草御所浦…。日本のさまざまな地域の20のジオパークについて、テーマごとのモデルコース、+α体験学習、ジオから授かる海・山の恵みなどを写真とともに紹介する。

『ジオパークを楽しむ本』 全国地質調査業協会連合会[ほか]／共編 オーム社 2013.1 (455.1シ)

日本列島各地の認定ジオパーク25か所を取り上げ、地質の特徴や生成メカニズム等を平易に解説。また、10人の専門家が、ジオパーク/ジオサイトの科学・歴史・文化的基盤について、ジオ多様性という観点から論じる。

『観光地の自然学』 小泉 武栄／著 古今書院 2013.3 (450.9コ)

伊豆半島、昇仙峡、南紀州、足摺岬、隠岐諸島、佐渡島…。日本の観光地15カ所を取り上げ、地形・地質の成り立ちや自然の仕組み、変わった植物の分布する理由などを図と写真入りで詳しく解説する。

『冒険半島伊豆へようこそ!』 伊豆半島ジオパーク推進協議会／監修 静岡新聞社 2013.7 (K291ホ)

伊豆半島ジオパーク公式ガイドブック。2012年に日本ジオパークに加入した伊豆半島の各エリア別に、代表的なジオサイト、ジオな体験ができる遊び処、食べ処などを紹介。

『伊豆の大地の物語』 小山 真人／著 静岡新聞社 2010.9 (K450コ)

伊豆半島の美しい風景や自然の造形に隠された意味や成り立ちを、最新の調査研究をもとに解明。現在進行形の地震・火山活動も紹介し、それらの将来予測や防災上の課題にも触れ、大地との共生の方策を探る。

『火山のおみやげ伊豆半島』 鈴木 雄介／監修 日本文学館 2013.12 (K291シ)

なじみ深い伊豆半島には複雑な歴史があり、その跡がおもしろ地層となってあちこちに残っている。地層をおかしになぞらえ、発見と体験のおもしろさを説くフルカラーガイドブック。

●伊豆半島について

伊豆半島とはどんなところでしょうか？ 伊豆半島ジオパークのジオサイトを中心に、観光地や名所・史跡などを紹介している本を見てみましょう。

『伊豆さんぽ(散歩の達人MOOK)』 交通新聞社 2015.1 (K291イ)

伊豆半島ジオパーク、日帰りで楽しむ名湯・秘湯、絶品「郷土寿司」で楽しむ味な伊豆、伊豆の七不思議など、伊豆のおすすめを紹介。2014年11月現在のデータを収録。

『伊豆遺産』 静岡県観光協会・伊豆観光推進協議会／[著] (K291イ)

伊豆の名所・旧跡・遺産・資産・独特の風俗・風習・特記される観光・文化をまとめたパンフレット。「伊豆の歴史を巡る旅へ」をテーマに、伊豆の国宝・歴史・史跡・文化財を楽しんでもらうために作成された。各市町の観光協会などの問合せ先も併記。

『中伊豆・西伊豆[2014]』 中伊豆・西伊豆観光宣伝協議会／[著] 2014 (K291ナ)

中伊豆・西伊豆の観光ガイド&マップ。歴史散策、ウォーキングや体験、食、おすすめビュースポットなどコンパクトにまとめたパンフレット。巻末には観光協会などの案内などあり。

『しずおか文化財ウォーク 愛蔵版』 静岡新聞社 2001.1 (K290シ)

貝塚や古墳をはじめ、名勝、巨樹名木、建造物や芸能、動物など、静岡県の貴重な文化財の中から、ウォーキングに快適な32コース(約150項目)を紹介。かくれたお宝を再発見できる愛蔵版。

『静岡県地学のガイド 新版』 土 隆一／編著 コロナ社 2010.5 (K450テ)

静岡県の地形や地質の特徴について解説するほか、静岡県を東から西へ7地域に分け、見学ルートを選び、それに沿った地学案内を収録。図や写真も豊富に収録した、静岡県で見られる地学的事象の観察に最適な手引書。

●函南について

函南のジオサイトについてもっと詳しく知るには? 地域資料には一般の本には載っていない情報も出ている場合があります。函南に関する地域資料も調べてみましょう。

『函南町観光関連パンフレット集(その1・その2)』 [函南町立図書館／作成] (K291.2カ)

函南町立図書館で作成した函南町の史跡・名所関連のパンフレットを集めたファイル。ジオサイトになっている柏谷横穴群や丹那断層、火雷神社、オラッチェ、月光天文台などのパンフレットも入っている。(貸出禁止・館内閲覧のみ)

『函KANNAMI南 改訂版』 函南町／編・政井 義和／写真 函南町 2014.10 (K709カ)

かななみ仏の里美術館の仏像を中心に、豊富な写真で紹介。後半の第二部に「かななみの風土」として、柏谷公園や丹那断層、かななみの文化や風土などを掲載。巻末に函南の名所旧跡の一覧あり。

『函南をあるく』 函南町農林商工課・函南町観光協会 函南町 2000 (K291.2カ)

函南原生林、玄岳、丹那断層、柏谷横穴群などジオサイトにもなっている函南の名所がおすすめのウォーキングコースとともに掲載されたパンフレット。。

『函南町誌(上・中・下)』 函南町誌編集委員会／編 函南町

1974.5(上)・1984.3(中)・1985.3(下) (K212カ)

函南町の歴史をまとめた書籍。上中下の三巻に渡り、歴史はもちろん、地理的環境や自然、文化、産業、民俗、文化財などあらゆることに関して記載された基本書。

『丹那地域風土記』 服部 司孝／編 丹那地域風土記編集委員会 1970.3 (K291.2タ)

丹那地域の歴史に関して書かれた書籍。自然、歴史、文化、酪農などについて詳しく記載されている。函南のジオサイトは丹那断層に関係した地点が多くあるため、丹那について集中的に記載されている本書もおすすめ。

●地球科学・地学について

「ジオパーク」の「ジオ」とは地球・大地を表す言葉です。地球科学や地学、地形観察の本から地球の成り立ちなどを知りましょう。

『奇跡の惑星地球の科学』 ニュートンプレス 2014.1 (450キ)

地球がいったいどのような惑星なのか、構造としくみを紹介。地球と生命がどのようなドラマを経てきたのか、その46億年にわたる歴史をたどり、なぜ生命が存在しているのか、地球の奇跡にせまる。全編カラーページのニュートンムック。

『大人のやりなおし中学地学』 左巻 健男／著 ソフトバンク・クリエイティブ 2011.3 (450サ)

地球の構造、火山、地震、天体の運行、太陽系や宇宙といった中学地学を、基礎のキソからやさしく解説する。フルカラーのかわいいイラストが豊富で、理系が苦手の人でも楽しく読める。

『四季の地球科学』 尾池 和夫／著 岩波書店 2012.7 (450モ)

地震と噴火は日本列島を生み出し、今も刻々とその相貌を変えている。四季の変化をもたらす天の運行、大地の動き、生態系の成り立ちなどを解説。大地の生い立ちを現場で学ぶ、日本と世界のジオパークも紹介。

『地形観察ウォーキングガイド』 目代 邦康／著 誠文堂新光社 2012.9 (454.9モ)

石灰岩がつくる棚田、近代化を支えた風穴、日本を動かした大断層など、北海道から沖縄までの地形を観察できるウォーキングコース26を紹介。地形図をはじめ、ルート、地形の解説等を豊富な写真とともに収録する。

参考2. インターネット情報

インターネットの情報は古かったり信憑性に欠ける場合がありますので、発信元・更新日時などを確認の上ご利用ください。

- **Global Geoparks Network** (<http://www.globalgeopark.org/>)
世界ジオパークネットワーク (GGN) のホームページ。 (英文)
- **日本ジオパークネットワーク** (<http://www.geopark.jp/>)
日本ジオパークネットワーク (JGN) のホームページ。ジオパークとは何かから、各地のジオパークの情報まで。各ジオパークのリンクやパンフレットのダウンロードなども豊富。
- **伊豆半島ジオパーク推進協議会「伊豆半島ジオパーク 南から来た火山の贈り物」**
(<http://izugeopark.org/>)
伊豆半島ジオパーク推進委員会による伊豆半島ジオパークのホームページ
伊豆半島ジオパークのテーマやジオサイトを解説。イベント情報も掲載している。
- **函南町** (<http://www.town.kannami.shizuoka.jp/>)
函南町のホームページ。
トップページ右上に検索ボックスから検索可能 (「ジオパーク」「柏谷横穴群」「火雷神社」など)
- **月光天文台** (<http://www.gekkou.or.jp/>)
函南町にあるジオサイトのひとつ、月光天文台のホームページ。
星空の観察によって、地球の立ち位置を確認できる。天文台内にある「地学資料館」では、化石を中心とした地学資料の展示もある。
- **酪農王国オラッチェ** (<http://oratche.com/>)
オラッチェは函南町にあるジオサイトのひとつ、丹那盆地の中にある施設。地質と地域社会との共存の歴史もジオパークの大きなテーマのひとつで、オラッチェでは丹那の酪農製品の販売や、アイスクリームづくりなどの体験を楽しむことができる。また、敷地内からは丹那断層が作った地形などが観察できる。
- **伊豆箱根鉄道グループ「箱根 十国峠ケーブルカー」**
(<http://www.izuhakone.co.jp/jukkoku-cable/>)
函南町にあるジオサイトのひとつ、十国峠の展望台に登るケーブルカーを運営する伊豆箱根鉄道のホームページ。ケーブルカーの営業時間や、十国峠山頂からのパノラマ映像などが確認できる。
(インターネット最終アクセス：2015年2月4日)